



こどもキャンプ 2013夏 活動報告

『はまれ！！ 海と無人島探検』

房総・館山 自分で作る 遊びつくす

キャンプ概要

1. 運営団体『こどもキャンプ2013サマー 実行委員会』について

『こどもキャンプ2013サマー 実行委員会』メンバーの多くは、2011年7月から2012年11月まで宮城県気仙沼市、岩手県一関市で活動していた、『子どもと野遊びを楽しむ会』のメンバーでした。この会は、気仙沼在住者が一名、東京近郊をはじめ遠隔地在住者が十名ほどで運営していました。遠隔地在住者の多くは、震災直後から長期間ボランティア活動のため気仙沼に滞在し、出会いました。

その出会いから、気仙沼の子どもたちとその保護者の支援を目的とした活動を始め、2～4泊の宿泊キャンプを9回、日帰りの行事を10回行ってきました。自然豊かな森、海をフィールドにした活動は、被災生活の続く子どもたちの心身解放となり、保護者の方々への支援、一時の休息を提供していたと思います。

遠隔地在住のスタッフは、活動のため平均月2回、東京～気仙沼と往復してきましたが、交通費の（スタッフの）自己負担、距離や時間的な問題もあり、各行事のスタッフの確保が困難になりました。

子どもたちとの関係・活動を継続したいという遠隔地在住スタッフの思いから、今後どんな活動を続けてゆけるか考える中で、東京近郊に子どもたちを招待し、東京近郊の子どもとの合同キャンプを計画しました。

そこで今回のキャンプは、東京近郊で自然豊かなフィールドのある千葉県館山市で、これまでと同様自然の中で心身の解放、東京近郊の子どもとの出会いの場づくりを目的としました。運営は、新しい団体『こどもキャンプ2013サマー 実行委員会』とし、新たなスタートとなりました。

2. 開催概要

期間 2013年8月8日（木）～11日（日）

宿泊 千葉県館山市沼 田中良子邸

活動場所 千葉県館山市／ 沖ノ島 北条海岸 新井海岸 館山城 南総城山温泉里見の湯
千葉県南房総市／ 関源吾左エ門農場
東京都／ お台場 渋谷 原宿 浅草 東京ドームシティ・ラクーア 上野動物園
国立科学博物館

参加人数 子ども 23人（宮城県気仙沼市、仙台市在住） スタッフ 21名

参加費 10000円（東京～館山往復交通費、食費、保険代含） 兄弟姉妹参加は9000円

※東京～気仙沼（仙台）往復交通費（東北新幹線）は、会が全額負担

備考 気仙沼近郊と東京近郊の子ども合同キャンプを企図しましたが、先行募集した気仙沼近郊の子どもたちの応募で定員を超えたため、東京近郊の子どもの募集を中止し、気仙沼近郊の子どものみキャンプとなりました。

3. キャンプ開催とプログラムの目的

このキャンプでは、被災地の子どもたちの心身解放、保護者への支援という目的と共に、自然豊かなフィールドで、便利なモノたちから離れ、遊びも生活も『自分でつくる』ことを考えプログラムを組んでいます。このことは被災地の子どもに限らず、その他の地域の子どものたちにとっても意味あることと思っています。

今、子どもも大人も、ネットや携帯、ゲームといろいろ使いこなしています。でも、食べ物、着るもの、エネルギー・・・生きてくために必要なモノを、自分では作れていません。文明の利器を使いこなしている！と自慢しても、『使っている』だけで、『作れている』ではありません。

そこでキャンプでは、まず、自分で火を焚き、ご飯を炊き、味噌汁を作る。畑で収穫して、自分の食事は自分で作る。そんなことを大切にします。羽釜で炊飯、子どもたちも鉋を使い、薪作りから始めます。今回の炊事はガス、電気を使わず、全て火を焚くことから始め、直火、炭火で行いました。

また、『使いこなす』ということは、モノに限ったことでありません。自分のやりたいことや楽しみ、遊びも自分で考え、作り、決めてゆくのではなく、他者に与えられた選択肢から選んでゆくというスタンスになってはいないでしょうか。

このキャンプでは遊びも、生活も、人とのつながりも、大人が決めお膳立てするのでなく、子どもが主体的に考え、心地よく過ごせるものにしてゆきます。プログラムもその時々、子どもたちと話しながら考え作ってゆきます。当然、事前に大人が計画したスケジュールは臨機応変に変更してゆくことになります。

4. 日程・主な活動

- 8月8日 JR一ノ関・仙台駅集合 スタッフ引率で館山へ（東北新幹線～東京駅乗換～高速バス）
新井海岸海遊び 館山市花火大会見学
- 8月9日 沖ノ島探検遊び
- 8月10日 北条海岸海遊び・海釣り 館山城ナイトウォーク 城山温泉里見の湯入浴
- 8月11日 スタッフ引率で東京へ（JR内房線）
東京観光（グループ別・行き先は活動場所／東京都を参照）
スタッフ引率で一ノ関・仙台へ（東北新幹線） JR仙台・一ノ関駅解散

5. 一日の基本タイムスケジュール

- 6:00 起床 朝のミーティング
- 6:45 朝の仕事（朝食作り／ 昼食作り〈外出先で食べるお弁当〉／ 畑での野菜の収穫）
- 8:00 朝食（後片付けも、子どもたちが行います）
- 9:00 プログラム（沖ノ島探検遊び、海遊び等） 昼食は活動場所でお弁当。
- 15:00 シャワー
- 16:00 夕食作り（全員で分担して作ります）
- 18:00 夕食 夜の仕事（夕食の後片付け／ 就寝用のテント張り）
- 19:00 夜のプログラム（館山市花火大会見学、館山城ナイトウォーク等）
- 21:00 夜のミーティング（グループに分かれ、一日の感想や翌日やりたいことを話合います）
- 21:30 就寝



8月8日（木） 晴れ☀

気仙沼はすこし涼しかったけど、館山は暑かった・・・



6:30

気仙沼の子どもたち、一ノ関駅集合。
集合時間よりすいぶん早く、皆集まってきました。
一番遅かったのは、引率スタッフの
さちを（笑）
自分の体より大きな荷物？を、自分
で持ちながら、出発です。



7:06

東京に向けて出発。
東北新幹線（7:41 仙台の子ども
たち、仙台駅から東北新幹線乗車）
→9:35 東京駅着。10:50、
JR高速バスに乗り換え館山へ。

12:45

JR館山駅着。スタッフ全員で出迎えました。
さっそく近くの『新井海岸へ』。着替えてすぐに海遊び！！
電車、バスの窮屈な空間の長旅だった子どもたちは、一気に
発散するように、海に向かっていきました！！
その後海岸で、自己紹介や、キャンプ中の仕事を決める班対
抗のボールゲーム（フラッグゲームのボール版）



16:00

宿舎にもどり夕食の準備開始。メニューは『流し素麺』。
が、しかし、流す台を組むのに悪戦苦闘。
薪で火を焚いて麺を茹でるのも大変で「流せない素麺」にな
りそうでしたが・・・
でも最後にひと頑張り。無事
「流した素麺」を食べることが
出来ました。



19:30

館山市花火大会見学。
出発前に、館山市役所勤務の『花火先生』あさこ先生から、花火大会についてのレクチャー。
近くの岸壁で見ていると、地元の『謎のかき氷業者』ゆうたくんが（本当は真面目な農家さんです）かき氷を皆に配ってくれました。



21:30

宿舎に戻り、班に分かれて一日の感想を話し合い、就寝。ほとんどの子が、庭に張ったテントで寝ました。（宿舎内で寝た子は、スタッフの間に挟まれながら寝ていました）

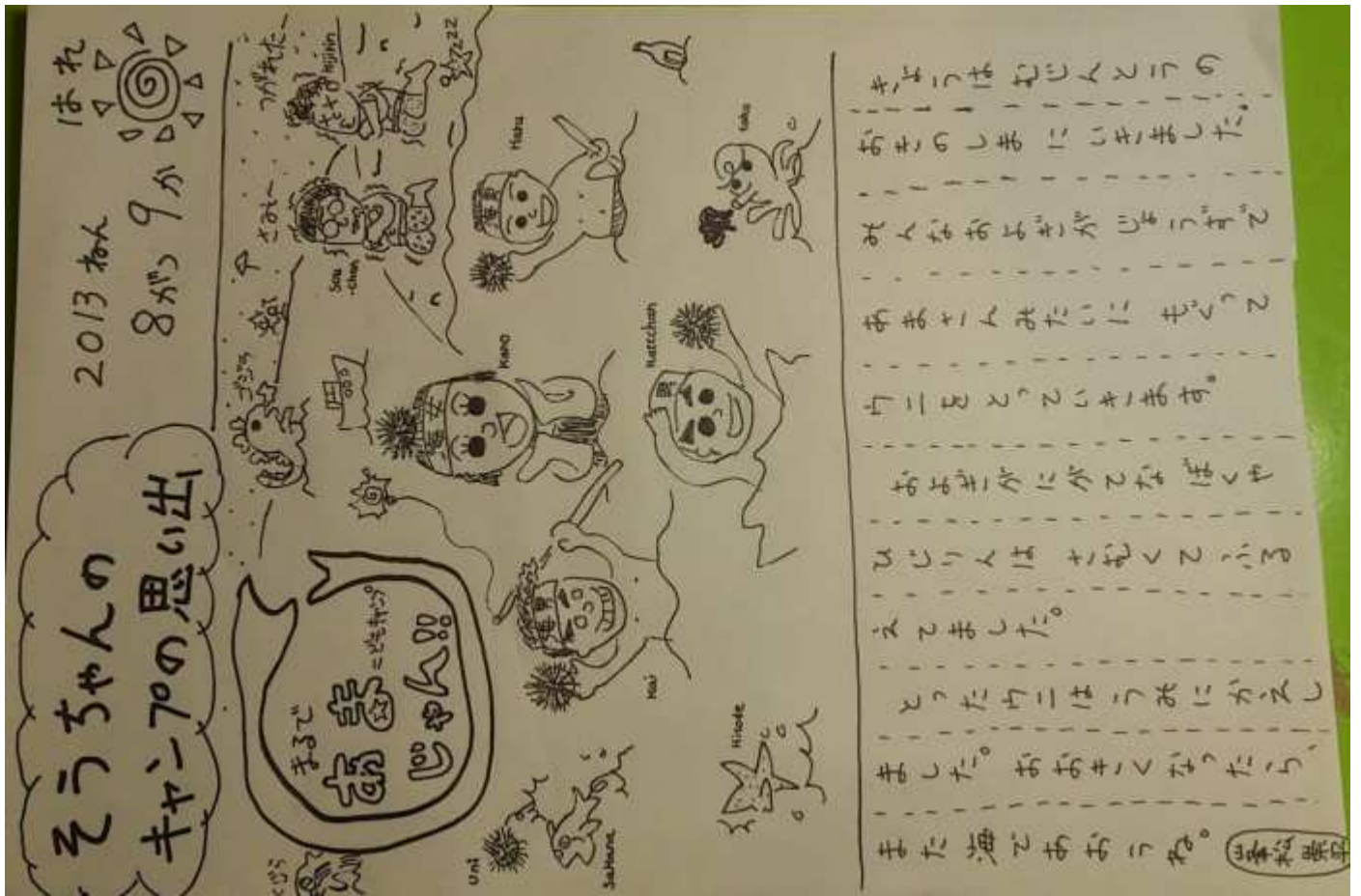
8月9日（金） 晴れ☀

やはり館山は暑かった・・・

9:00

この日のメインプログラムは、無人島・沖ノ島探検。朝食をすませ、さっそく出かけました。
昨夜の花火大会の余勢で観光客も多く、無人島らしからぬ？賑わいでしたが・・・
少人数のグループに分かれて洞窟、磯、浜辺、海と思い思いおもいに、島を巡りました。昼食は、朝の仕事で子どもたちが作ったおにぎりと、スタッフが揚げた鶏のから揚げでした。



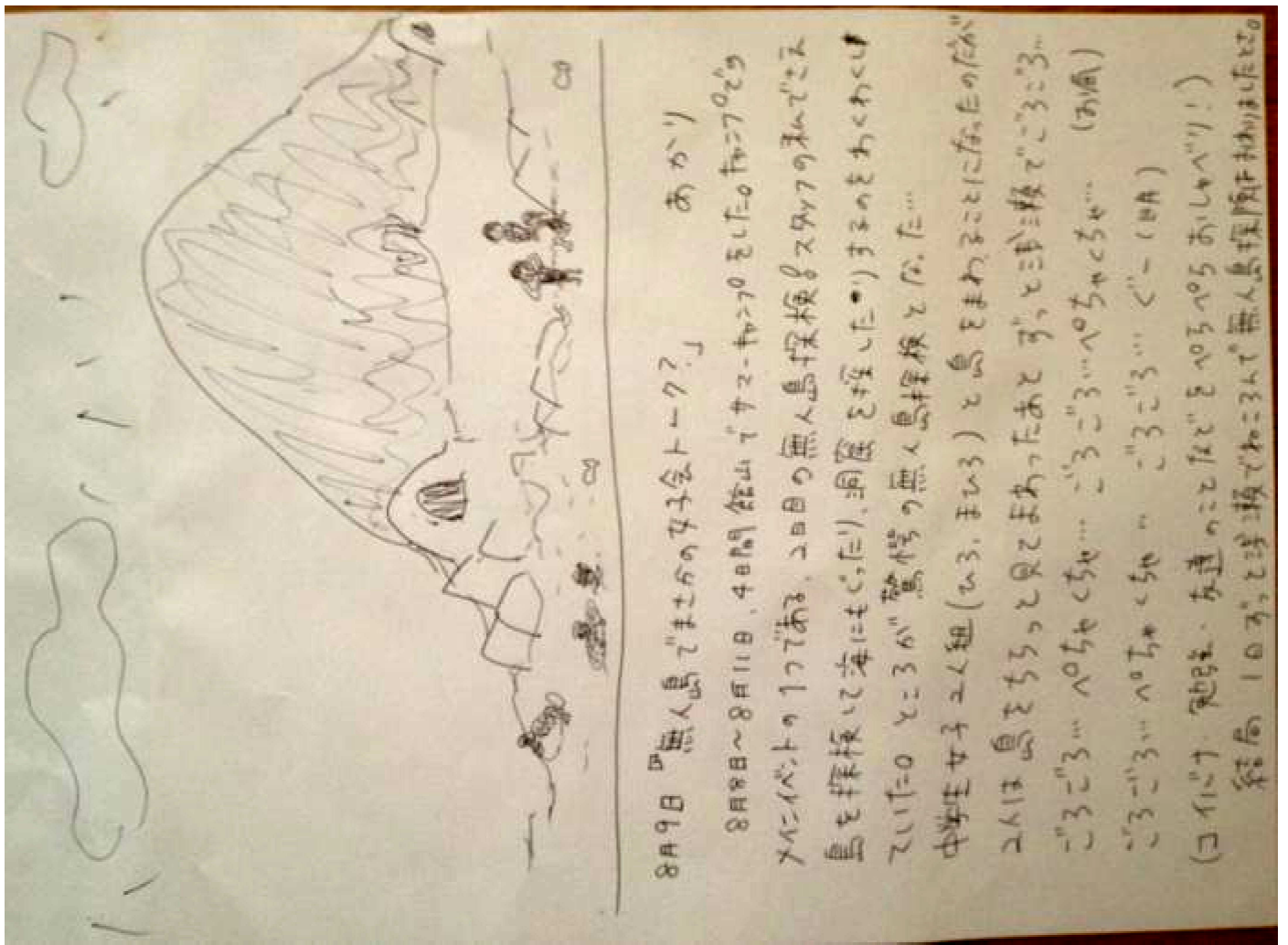


スタッフの絵日記

上/そうちゃん (峯松崇平)

下/あかり (小幡明梨)

きょうはむじんとうの
おきのしまにいました。
みんなおよぎがじょうずで
あまさんみたいに、もぐりこ
う二足とていきます。
およぎがにがてなばくや
ひじり人はさむくてふる
えてました。
とった内二はうみにかえし
ました。おおきくならたら、
また海であおうね。





15:00

沖ノ島から宿舎へもどり、シャワーを浴びて、夕食の準備へ。
この日のメニューはカレーライス。

朝の仕事で子どもたちが収穫してきた野菜を使い、班に分かれて、オリジナルカレー作り。

班毎に話し合い、どんな材料、味付けか考え、他にはない特徴あるカレーライスを目指しました。中には、『R I Oのハゲカレー』なんていうネーミングの班も・・・



18:30

夕食。子どもたちが作った3種類のオリジナルカレーと、スタッフなべさまの作った『なべさまカレー』の4種類。ご飯を皿によそって、皆、好きなカレーを選びながら食べました。

20:00

夕食後は、子どもたち発案による、シークレットライブ・・・ラジカセから音楽が流れ出し、『女々しくて～女々しくて～』と踊り狂う子どもたち・・・？

これ、この日誕生日だったスタッフのひろみへ、子どもたちからサプライズの誕生日会。

子どもたちが自分たちで思いつき、昼間の沖ノ島でプレゼント集め（貝殻）までしていたそうで・・・

踊り狂い終わった（笑）子どもたちが、ひろみを連れ出し、プレゼントの贈呈とハッピーバースデーの大合唱。バースデーケーキも登場。皆で切り分けて食べました。とにかく、祝ってもらった本人、大感激でした。

（しかし・・・毎年のようにひろみは、夏のキャンプで誕生日祝いをしてもらうので、それ目当てに参加しているのでは・・・と、他のスタッフから噂になっています）

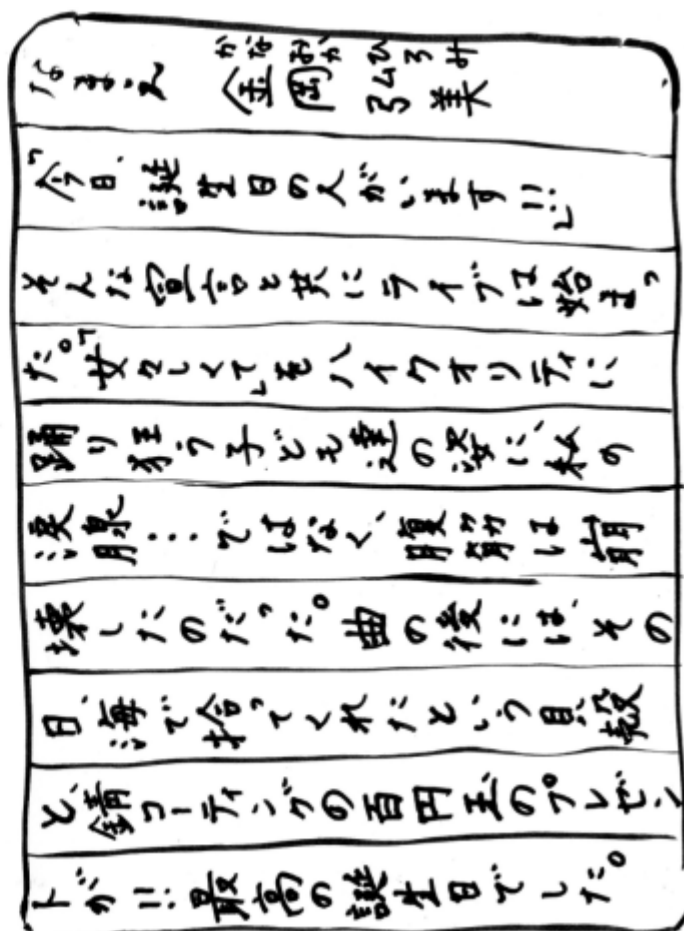


21:30

誕生会の余韻冷めやらぬ中、班に分かれて一日の感想を語り合い、就寝。暑い、長い一日でした。



スタッフの絵日記



ひろみ (金岡弘美)

8月10日 (土) 晴れ☀
 この日もやはり館山は暑かった・・・

9:00

予定ではこの日も沖ノ島探検でしたが、連日の暑さ。年齢も、体力も、過ごすペースも、やりたいことも、一人ひとり違います。

そこで午前中は、子どもたちにやりたいことを聞き、宿舎ですいか割や昼食のバーベキューの準備をするグループ、岸壁で釣りをするグループ、それでもまだまだ海で泳ぎたい猛者グループに分かれて過ごしました。





12:30

昼食。宿舎の庭でバーベキューをしました。暑いので日陰にバーベキュー台を設置しましたが、それでも暑い。

子どもたちも、焼いては日陰やテント、宿舎の室内に入り食べていました。

子どもたちは、肉、ソーセージをどんどん食べて、畑で収穫した野菜は手を付けず・・・

でも、スタッフに野菜も皿に乗せられていました。



14:00

ここでも予定変更、近所の日帰り温泉『南総城山温泉里見の湯』へ出かけました。

露天風呂、ジャグジー、水風呂と、いろいろな風呂をはしゃぎながら回り楽しんでいました。

入浴後は、預かっていたお財布をいったん返してもらい、お土産を買ったり、アイスやジュースを買って、のんびりと過ごしました。



18:30

夕食を済ませ、本日のメインイベント『ナイトウォーク』（きもだめし?）。これ、本当に、子どもたちが楽しみにしているイベントなのです。（キャンプ初日から、子どもたちの間でこの話題が出ていました）

会場は、館山城。真っ暗な山の上に、ライトアップされたお城がそびえ立つ、これまでで最高のナイトウォーク向き?のロケーションでした。

出発前に子どもたちに、キャンプ地房総が舞台の長編古典『里見八犬伝』と、スタッフが創作した『里見八犬伝・続編・犬神家の一族テイスト』を話し、コースを歩いてゆくと、そのストーリーを追体験できるという・・・壮大な?仕掛けをスタッフが準備しました。

山の下から出発し、頂上の館山城まで行き、下ってくるという、約40分ほどのコース。今回は、出発前に脱落（行かない）する子もおらず、全員出発。

（しかし途中で脱落し、スタート地点に引き返す子どもも・・・）こわがっていた子も、楽しんでいた子も、ゴールに戻ってきたときには皆、満足そうな表情でした。



21:30

ナイトウォークの興奮も冷めやらぬ中、班に分かれて今日の感想を語り合い、そして就寝。最後の夜です。

スタッフの絵日記 RIO（水島亮）

みんなでいけばこわくない?!



ナイトウォークは、
たてやまじょうをぶたいにおこなったよ～

とおくから、おおきなひめいがたくさんきこえたな～

なっていたこもいたし、
さいごまでいけなかった子もいたけど、

ちょうじょうのお城のところで、
何回か笑い声がきこえたのは
今だに謎だ～

8月11日（日） 晴れ☀ 午後、東京はにわか雨☔

最後まで館山は暑かった。そして東京も・・・

6:00

起床。この日は東京に移動しミニ観光の日。すぐに自分の荷物整理。忘れ物の無いように・・・

8:00

朝食後、みんなで集まり最後のミーティング。一人ひとり、館山での3日間の感想を語り合いました。

「参加費5万円でもまた来たい」とか「10万円でも来たい」とか・・・。楽しかったことも、皆さまさま。でもみんなそれぞれの過ごし方で、楽しんでいた（大変な事もあったらうけど）ことが伝わってきました。

子どもたちの大歓声のリクエストで、得意の？『ハニワ』の物真似をするスタッフもいました。



10:10

館山を出発。駅の改札で、ここでお別れのスタッフからの熱烈な？見送りを受けて、別れを惜しみながらJRの改札を通過してゆきました。

しかし、駅のホームに降りた途端・・・子どもたちから「財布返せ～！！」の大合唱。

自動販売機を見た途端、買いたくなったようで、スタッフが預かっていた東京観光用のお金（財布）を返せ！ということでした・・・



JR内房線の、特に館山からしばらくの間は、車窓の風景も、乗客の数も、気仙沼を走る大船渡線をほうふつとさせるののかなもの。子どもたちもゆったり、のびのびと、電車の移動を楽しんでいました。しかし、東京に近づくとつれ、乗客が増え、車窓の風景も都会のビルが林立したものに・・・その変化と共に、子どもたちの様子も徐々に館山での表情と違ったものになってゆきました。



12:30

東京駅着。いよいよ東京観光です。館山キャンプから引き続きのスタッフとともに、この東京観光のために参加してくれた新しいスタッフも加わりました。館山2日目の夜に、改めて子どもたちに行きたい場所を決めてもらい、行き先別にグループに分かれ、さっそく出発。

『東京のベイ・シティ』を楽しむお台場。昼食もそこそこに、遊園地でのアトラクションとジャンプショップでの買い物をしまくった東京ドームシティ・ラクーア。

パンダをはじめほぼすべての動物を制覇した上野動物園。恐竜の標本をはじめ一日では回り切れないほどの充実した展示の国立科学博物館。仲見世通りを闊歩し、スカイツリーも近くで見ることのできた浅草。

渋谷や原宿では、女の子たちがとにかく買い物と、はやりのお店で食べる食べる・・・

短い時間でしたが東京の街を楽しんでいました。

気仙沼の子どもたちは普段電車に乗る機会が無いようで、路線図から行き先の駅を探すのも、券売機で切符を買うのも、とまどい一苦労していましたが、それもまた新鮮な経験だった様子でした。





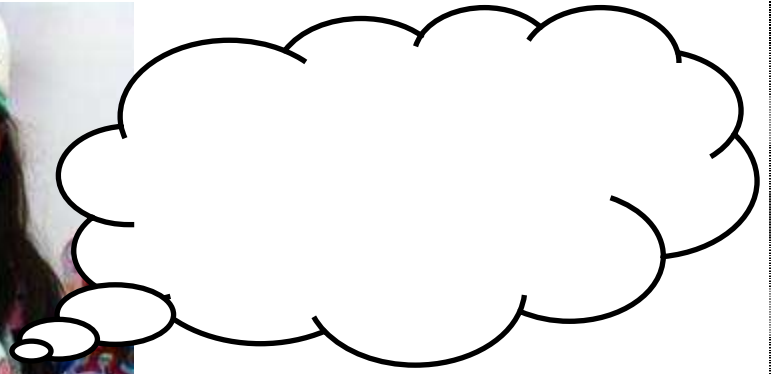
17:28

東京観光を終え、再び東京駅に集合。東北新幹線に乗り、一路仙台～一ノ関へ。

新幹線ホームで、子どもと見送りのスタッフが再会を約束し別れを惜しんでいました。

こうして、こどもキャンプ2013サマーは、無事終了しました。暑く、楽しく、よく遊び、よく笑い、そして、熱いあつい4日間でした。





キャンプ最終日は、東京観光！
グループにわかれて、そこにスタッフがひとりかふたり。
パンダが見たいさちをは、なべさんにお願いして上野動物園！

おしゃれな女の子の中には、渋谷や原宿へ。もちろんそこにもスタッフが。
グループにわけて、とあるグループは、ひなたちゃんと、ともちゃん
そこにいっしょに行くスタッフはなんと！スペシャルゲストのくによし！！「◎-◎」
東京観光のためだけに来てくれました！

それをふたりに言うと・・・ 「くによしはい～や～！くによしだけはい～や～！」
と、猛反対(もうはんたい) (笑)

「さちをがいい～！」 内心うれしくて、ついて行きたくなったことはひみつ。。。
そしてまだまだ・・・ 「いーやーだー！」 ん？ウソ泣き、ばれてるぞー (笑)
東京駅で、くによしに会っても、にげるふたり (笑)

そんなこんなで、みんな観光へ出発！

そして、さちをが思いっきり動物園を楽しんでるとき、くによしからメールが。

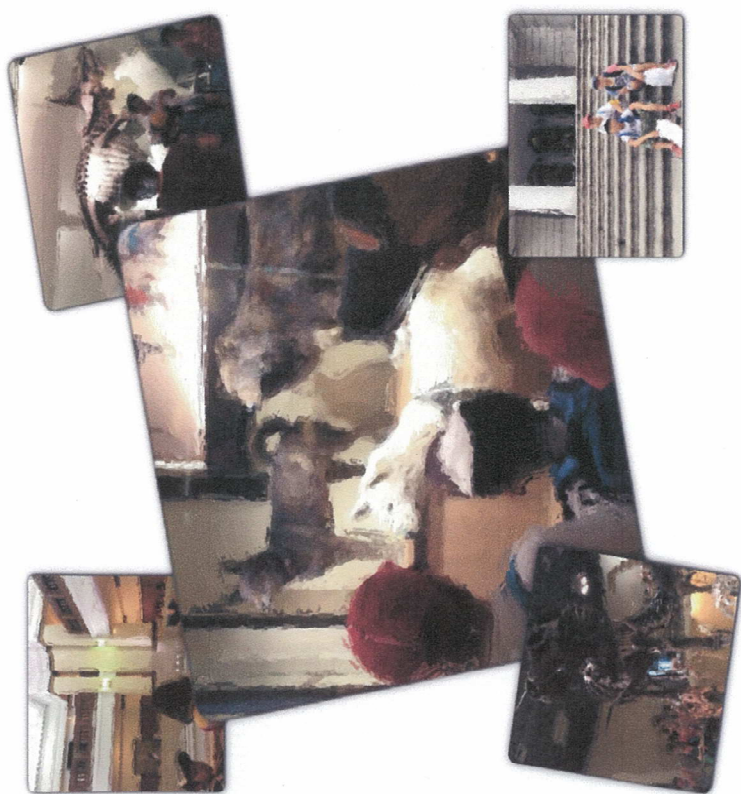
くによしから送られてきた、写真を見たら

行きたかったところにも行けたみたいだし なによりなんだかんだ笑顔。

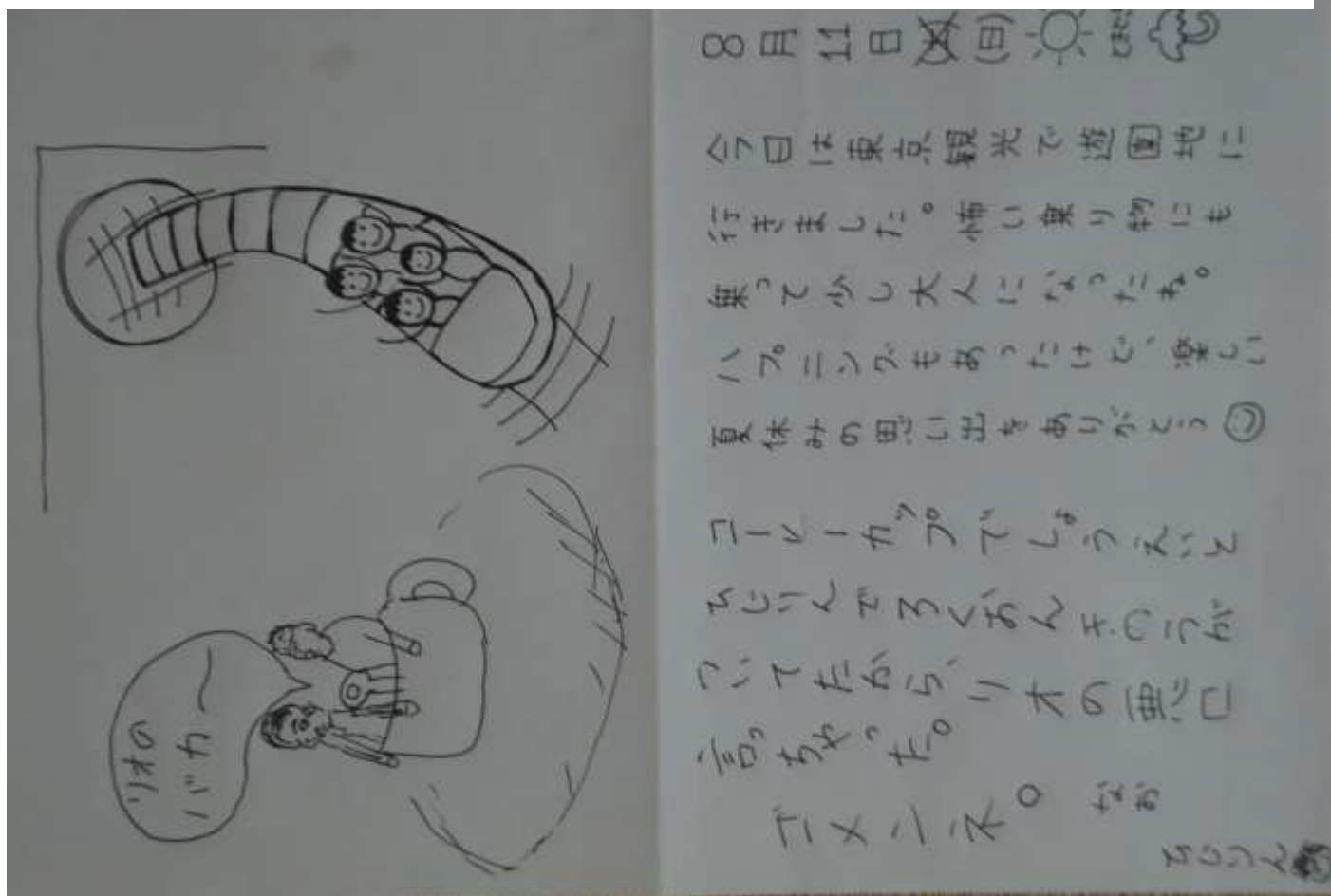
やっぱりなんだかんだくによしのこと好きだし なんだかんだかんだ楽しんでたでしょ？笑
好きな人にはいじわるしたくなるもんなんですね！！

八月十一日 日曜日 (晴れ)

国立科学博物館のガイドさんをラッキーな事に独占できたので、たくさんのお話を学びました。大好きな恐竜の化石を見たり、昔の望遠鏡をのぞいてみたり、ハチ公のはく製が出来るまでの過程を知ることが出来ました。全部は見れなかつたけど、おみやげや本物の化石が買えたからうれしかったです。宝物です。最後はみんな決めポーズ！



スタッフの絵日記 上/せいこ (高野聖子) 下/なお (小田本奈緒) ひじりん (岡本聖)



『みんなでやること』の数々・・・

自分で作る みんなと作る

・食事作り（夕食は全員で、 朝食は担当の班が作りました）

今回はガス、電気は使わず、全て火を焚いて作りしました。羽釜での炊飯、おかず作り。子どもたちも鉋や包丁を使いました。

厚焼き玉子も、直火で火加減に悪戦苦闘しながら、上手に作りました。新メニューは、ジャンボ鉄板目玉焼き。大きな鉄板を、たまご40個で隙間なく埋め尽くし、目玉焼きを一気に作りました。



・昼食の弁当作り（朝の仕事）

昼食は毎日、おにぎりを食べました。そのおにぎりを、毎朝子どもたちが作りました。

手の大きさの違いが、おにぎりの大きさの違いにもなりましたが、手際よく、きれいに作りました。





畑での野菜収穫

朝の仕事の一つ。スタッフのりょうちゃん（館山在住）が普段農作業にいそしむ、館山の隣・南房総市千倉町の『関源吾左エ門農園』へ、毎朝野菜の収穫に。無農薬無肥料栽培の野菜や、バターナッツ（かぼちゃ）などなど、めずらしい種類の野菜も。



食後の後片付け（毎食後）

食事の片付けも、自分たちで行います。班のメンバーで仕事を分担し、協力して行いました。

テント張り（朝、夜の仕事）

毎朝、テントは一旦たたみ、夜夕食後に張りなおしました。10人上泊まれるテントが2張り。ちょっとした大仕事でした。



今回、参加者募集を始める前は、果たして応募があるのだろうか・・・と不安に思ったこともありました。遠方での開催、『子どもと野遊びを楽しむ会』キャンプと比較して高額な参加費、昨年11月のキャンプ以降、私たち東京近郊（遠方在住者）スタッフは活動をする事ができず、時間が空いてしまったこと。

気仙沼、仙台から23名の応募をいただいたことは、正直驚きでもあり、本当にうれしい事でした。昨年まで、一ノ関ひこばえの森で行っていたキャンプと同じだけの数のご応募をいただきました。

施設の関係から東京近郊の子どもと合せ定員20名と考え、これまで参加してくれていた子どもちから声を掛けたかったので、気仙沼近郊の方から先行募集しましたが、この時点ですでに定員を超え、東京近郊の子どもの募集を取りやめました。募集チラシでは、東京近郊の子どもとの出会いの場を作るキャンプ、と銘打っていましたので、この点で看板に偽りあり、となってしまったことを、お詫びいたします。



『子どもと野遊びを楽しむ会』の会計等の整理を終えたのが、5～6月。夏休みにキャンプを開催したいと考えたものの、準備時間は少なく（キャンプ場等既存の施設は既に空きがなく、助成金等の資金集めの時間もなく）あきらめかけていました。でも、既存の物やお金を出して便利な物に頼るのでなく、『自分たちの身近の物を利用して』『足りないものは自分たちの手で作り出して』、キャンプを開こう！と考えました。

普段生活しているご自宅を、キャンプの宿舎として提供して下さった田中良子さんには本当に感謝しております。田中さんのこのご好意により、キャンプ開催の可能性と、私たちの覚悟が決まったと言えます。田中さん宅を、キャンプが出来る宿舎にする事も大変な作業でした。田中さんのご好意でキャンプに不必要

な家具を運び出し、大人数で過ごせるよう模様替えし、庭もテントや直火調理が出来るようにしたり・・・。
薪も購入するのではなく改築現場の廃材を使い、自分たちで薪作りをしました。畑にはキャンプの食材に出来るように、大急ぎで種を播きました。

キャンプの実質準備期間の約1か月、中心となった複数のスタッフは、自分の穏やかな日常？を壊しながら(笑)、このキャンプを作り上げる作業に没頭し、ある意味とても充実した、楽しい時間をすごしました。



『子どもと野遊びを楽しむ会』の解散時、会計残額約23万円を私たちが引き継ぎました。子どもと野遊びを楽しむ会の活動資金は、主に「気仙沼をはじめ、被災地の子どもたちのために使ってほしい」という寄付で支えられていました。ですから、残額も寄付いただいた方々の意に沿った形で使いたいと考えました。

そこで、このキャンプの新幹線代補助に、この残額を充てることにしました。これで、10～15名の子どもの新幹線代を確保できました。そして、23名のご応募をいただき、開催資金が足りないという嬉しい悲鳴(笑)になりました。まず新幹線チケットを購入するお金が足りない。それ以外のキャンプでの活動費用等も試算すると、追々約20万円の不足となることがわかりました。



きちんと定員を設定して、抽選で受け入人数を絞るべきか・・・どうするかスタッフで話し合い、応募いただいた子どもたちの名前と顔を思い浮かべると、一人も断ることはできないという結論になりました。

そこで、新幹線チケットを購入する時点で、スタッフ個人が20万円立替(会への貸出金・会にとっては借入金)、以後皆で寄付集めに努力しました。キャンプに参加できないスタッフは、資金提供で参加(協力)してくれました。結果、多くの方々から寄付をいただき、最終的に赤字にならず開催することができました。

今回のキャンプ参加費は、周囲の人たちから「安いのでは？」と言われました。一般的な同様のキャンプで、助成金等の資金援助を受けていないものとしては、かなり安い金額だったと思います。この金額で出来たことの原因は、『身近の物を利用』し『自分たちの手で作る』ことで、お金で便利を得る方法に頼らなかったこと。そして、このキャンプを理解し援助していただいた方々のご好意があったからです。

キャンプ期間中も、赤字にしないよう、会計の残額とにらめっこしながらの運営でした。3日目に、計画外の日帰り温泉入浴に出かけましたが、前日の夜まで、入浴料を出せるか分かりませんでした。でも、キャンプ開始直前や、開催期間中にも更に寄付をいただくことが出来、それにより入浴料の目途が立ちました。またお金でなく、お米、野菜、その他必要物品、数多くの物資も提供していただきました。

援助していただいた方々は、東京近郊在住の友人、知人、開催地館山市の方、そして今回参加いただいたお子さんの保護者の方もいらっしゃいました。本当に、ありがとうございました。



キャンプのタイトルに、『自分で作る』『あそびつくす』と書きました。

大人スタッフも、このキャンプを『自分たちで作る』ことを実践しないと、子どもたちに『自分で作る』ことを求めることが出来ません。(まず身をもって、実際にやってみせないと、説得力ありませんから・笑)

今回のキャンプは、人・モノ・お金、あらゆる面で、大人たちも『自分で作る』良い体験になり、その過程は、決して苦労や大変な事ばかりでなく、目標に向かって『遊びつくす』楽しい時間だったと思います。

これからも安易に便利な物やお金に頼るのではなく、自分たちで作るキャンプを続けてゆきたいと思っていますが、今回のような参加費には出来ないかもしれません。それでも、自分たちで作る、お金に頼らないという努力の結果、「これが精いっぱいの結果です」という金額にするつもりですので、ご理解ください。



最後に、今回のキャンプで21人のスタッフが参加しました。(直前の体調不良で不参加が2人)今回が初めてというスタッフもたくさん参加し、子どもたちに新しい大人との出会いを提供できたと思っています。

『子どもと野遊びを楽しむ会』の時は、8～10名ほどの少数精鋭?で行っていましたが、今回は多くのスタッフが集まり、協力して行うことが出来ました。交通費自己負担、無報酬という中で集まった、たくさんのスタッフの力があって初めて、キャンプを無事に行うことが出来たのだと思います。

震災から2年半。離れた場所に住む者たちが何を出来るのか。お金や物や条件に恵まれない中で、自分たちで何を作り出すことが出来るのか。そういう事を、新しく加わったスタッフと共に考え動けたことが、今回のキャンプの私たちの経験と学びになり、今後も続いてゆく課題だと考えています。



2013夏キャンプ 会計報告

【項目】		【収入】	【支出】	【項目小計】
引き継ぎ	子どもと野遊びを楽しむ会 残金	236922		
	唐桑往復交通費（倉庫後片付け等、残務のため）		20685	216237
借入金	借入（渡辺和浩より）	200000		
	借入返済（渡辺和浩へ）		200000	0
寄付金	19名	264525		264525
こども参加費	¥10000×11名、¥9000×12名	218000		218000
保険代	¥1000×39名（三井住友海上火災保険）		39000	-39000
施設使用料	宿舎¥200×35名×3日間		21000	-21000
交通費	新幹線代（往復・スタッフ含）		357750	
	高速バス代（往路・東京～館山・スタッフ含）		35790	
	JR乗車券（復路・館山～東京・スタッフ含）		39680	-433220
車両運搬費	期間中使用した車両のガソリン代、高速道路代等		29342	-29342
一関送迎経費	JR乗車券（館山～東京） タクシー代 宿泊費		4690	-4690
食品代	食事食材、誕生会ケーキ代、飲み物代		40851	-40851
活動費	入浴料（里見の湯）		24640	-24640
事務費	印刷代、事務用品等		26271	-26271
通信費	資料郵便代		8230	-8230
備品①	調理用薪ストーブ、ゴムボート等、大型の物品		35892	-35892
備品②	石鹸、シャンプー、ティッシュ等、細かい物品		13914	-13914
その他	ごみ処理費、東京駅スタッフ入場料等		1500	-1500
		【収入】	【支出】	【合計】
最終合計		919447	899235	+20212



行事情報・キャンプの様子などは、ホームページでもご覧になれます

(HP) <http://codomocamp.com/index.html>

(ブログ) <http://codomocamp.com/blog/>

ご寄付のお願い

こどもキャンプは、運営費のほとんどが、みなさまからのご寄付に支えられています。参加する子どもに、東日本大震災被災地の方が多く、参加までにご負担が多いのが実情です。その負担軽減のためにも、皆さまからのご支援をお願いいたします。ご寄付は次回以降のキャンプ運営費に使わせていただきます。

食品（お米、素麺など保存のきくもの）食器、スプーン、フォーク等、物品提供もお願いしております。

ボランティアスタッフ募集（こんなスタッフを求めています）

たとえば料理の時、子どもたちに自由に味付けしてもらいますが、大人からすると「ありえない」調味料を使います。そんな時、『正しい』作り方を押し付けるのではなく、一緒に考えプロセスを楽しめるスタッフを求めています。包丁、鋸、鉈など危険な道具も使いますし、子どもの『安全』に責任は求められますが、危険回避だけ考えるのではなく、子どもがどうしたら自分で作業を出来るのか、共に考えるようにしています。

『大人』と『こども』という枠を超え、子ども目線で、一緒に遊びも作業も楽しみ、考えられる人を求めています。たとえば、子どもの作った料理が美味しくなくても、一緒に作った充実感を共感できる人。あるいは、嫌味なく笑顔で「まずいよ！！」と言って、がつがつ食べられる人（笑）

こどもキャンプ2013夏 実行委員会

(連絡先) 運営責任者 渡辺和浩 〒185-0001 東京都国分寺市北町1-17-6

TEL080-5389-2888 E-mail/ info@codomocamp.com

(振込口座) 口座名義：こどもキャンプ codomocamp 代表/渡辺和浩

ゆうちょ記号：10150 番号：67173441

※他行からのお振込み ゆうちょ銀行 店名：〇一八 店番：018 口座番号：6717344